

2026 年度 一般入学試験 [1 月 16 日(金)実施]

理科

【対応】

以下の問題部分について、受験生全員を「正解」として扱います。

なお、合格発表につきましては、予定通り 1 月 23 日(金)に行います。

【該当部分】

大問 2 (1) ③・④

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 太郎さんと先生が、メダカについて話している。次の会話を読んで、下の①～④の問いに答えなさい。

太郎：家の水槽で、メダカを育てています。今年の春に、a 卵からメダカがかえって、メダカの数が増えたら、水槽の壁などについていた緑色の汚れがなくなりました。

先生：メダカが食べたのですね。

太郎：緑色の汚れは、b 藻などの水中の植物ですよね。これまで、メダカは水中の小さな動物プランクトンを食べる肉食動物だと思っていましたが、植物も食べるのですね。

先生：そうです。メダカは動物プランクトンだけでなく、植物も食べます。このように、生態系における実際の、c 食べる・食べられるの関係はひとつながりの鎖ではなく、網の目のように複雑になっているため、食物網と呼ばれています。

太郎：なるほど。外来生物であるオオクチバスなどのように、本来その地域にいなかった生物が定着すると、d 食べる生物と食べられる生物の数のバランスがくずれ、食物網に大きな影響が出ると聞きました。

先生：その通りです。だから、もともとその地域にいない生物を安易に持ち込まないようにする必要があります。

- ① 文中の下線部 a について、メダカのように、背骨をもつ動物をまとめて何というか、書きなさい。

- ② 文中の下線部 b について、メダカのように、親が卵を産み、卵から子がかえるなかまのふやし方を何というか、書きなさい。

- ③ 文中の下線部 c について、水中の生物の食べる・食べられるの関係を、食べられるものから食べるものの順に並べたものとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

ア ミジンコ→メダカ→オオクチバス イ メダカ→ミジンコ→オオクチバス
ウ ミジンコ→オオクチバス→メダカ エ メダカ→オオクチバス→ミジンコ

- ④ 文中の下線部 d について、図は、生態系の生物の数の関係的模式的に表したものである。図のようにつり合いのとれている状態から、何らかの原因で肉食動物の数が増えた場合、その後、もとの状態に戻るまでに、どのような生物の数の変化が起こるか。次のア～エを、変化の順番に左から右へ並べ、その記号を書きなさい。

ア 草食動物が減る イ 草食動物が増える
ウ 植物が減る エ 植物が増え、肉食動物が減る



図